



未来のわたしに
今のわたしが
できること



個人・企業のヘルスリテラシー向上と日本の8割の雇用を支えるローカル経済圏でのフェムテック普及展開の仕組みの構築に向けた実証事業

株式会社陽と人（ひとびと） 福島県国見町

デリケートゾーンケアブランド『明日 わたしは柿の木にのぼる』



こんにちは。株式会社陽と人（ひとびと） 代表の小林^{みかみ}味愛と申します。2017年8月、福島県国見町に株式会社陽と人を設立しました。東京都立川市で生まれ育った私が初めて福島県を旅したのは、国家公務員として働きはじめた2010年。 その後、民間企業に転職し、地域活性化に関わるコンサルティングを行う中で、改めて福島県とのご縁に恵まれました。

地域の^{あたたかみ} 方々の温かさ、土地に根付く文化、美味しい^{日本酒} 日本酒と料理など、知れば知るほど心を惹かれる福島県の魅力。それと同時に、まだ芽吹いていない数多くの地域資源^{宝庫} の存在に気付いたのです。「ここは何もない土地だから」と仰る方は多いのですが、私にとっては素晴らしい実や花をつける種の^{宝庫} 宝庫。「活用の仕方」次第で、価値あるものに育てられるはず、そう感じた私は、福島県で地域商社の立ち上げを決意しました。

株式会社陽と人は **未来の相談窓口** です。生産地である福島県に本社を、さらに消費地である東京都にも拠点を構えることで、地域と都市におけるニーズを独自の目線^{目線} でとらえていく。そして「もったいない地域資源」を需要に即したカタチで価値化し、求められる場所へ届けていく仕組みを創出しています。これらはもちろん福島県に限った話ではありません。各地の地域と都市をつなぎ、新しい流れをつくり、しあわせを循環させていきたい。そのために何ができるのかを自らの課題みなさまと一緒に邁進していきます。

今日と未来を、晴れやかに。

株式会社陽と人が目指すのは、
地域を照らし、
地域で埋もれる種から価値あるものを実らせ、
地域に新たな風を吹き込み、
地域の人々の熱量を上げていく、
太陽のような存在です。

晴れやかな今日から、
晴れやかな未来がはじまります。



柿にまつわる古来の知恵に着目した、デリケートゾーンのケアブランド

「明日 わたしは柿の木にのぼる」は、柿にまつわる古来の知恵に着目したデリケートゾーンケアブランドです。福島県国見町のあんぽ柿製造工程で廃棄されていた柿の皮から抽出した成分を活用することで、地域の持続的な発展も目指しています。



寝不足、不規則な食生活、疲労、免疫力の低下など、私たちの生活の乱れによって、デリケートゾーンの菌のバランスが崩れ、それがおりものの異常やかゆみなど、デリケートゾーンに症状としてあらわれます。

そのため、**デリケートゾーンは「自分の心とカラダを知るバロメーター」**になります。

1日10秒でもデリケートゾーンケアを通して、全ての女性のご自身をいたわるきっかけになりますように。



あんぽ柿の生産過程で廃棄されていた資源（柿の皮）を製品の主原料に使用。
そして生き生きと輝く女性をエンパワメントする製品をつくることで、社会へ還元します。
循環する社会の実現へ向けた活動を止めません。

Policy

わたしたちのポリシー



月経、妊娠、出産、更年期、閉経、そしてニオイや乾燥といったデリケートゾーンのトラブルなど、女性特有のさまざまな悩みに寄り添います。



high quality

石油系界面活性剤をはじめ、防腐剤や鉱物油も無添加。
厳選した植物由来成分*を用いたシンプルな処方により、国内工場で行っています。



心も、カラダも、生き方も、これまで歩んできた道のりが、今のわたしを構成している。わたしが選んだものすべてが、未来のわたしをつくっていく。

人生は選択が続くけれど、いつも「正解」なんてでせざるわけがない。失敗だって愛嬌。つまずいたら、立ち上がればいい。疲れてしまったら、休めばいい。

どんな時も、わたしらしく。わたしはわたしを、愛しつづけていたい。自然体でいられれば、毎日を笑顔で過ごせるから。

前を向いて、空を見上げて、水にのぼる自由が、わたしにはある。

- 「ヘルスリテラシー」「フェムテック」。昨今よく耳にする言葉です。本当はこれらは、私たちが健康な毎日を過ごすために誰しも必要不可欠な概念ですが、体調を崩してから問題意識を持って知る、地方ではタブー視されていてそもそも言葉も認知されていないなど、どうしても日常の中で自分ごとにできないため、情報へのアクセスができなかったり、正しい知識を知る機会に出会えなかったりしている現状があります。そう、「一部の関心のある方」しか知らないし、アクセスしようと思えないのです。
- 私たちは、この状況を改善したいです。**都会も地方も大企業も中小企業も、日本の全ての人たちが女性の身体に関する正しい知識を持った上で、自分で選択できる、パートナーと話せる、身体を害さないで仕事ができる、そんな社会をつくりたい。**
- そして、デリケートゾーンケアブランド（『明日 わたしは柿の木にのぼる』）という導入ハードルが低い「日常のケア」製品を持っているからこそ届けやすい情報もあると思います。また、福島という地方に根付いた企業だからこそ地方で連携して取り組むことができる環境があると思います。
- だから、私たちがこれらに取り組むべきだと考えています。

ヘルスリテラシーにアクセスすべき女性が
知らない現状の改善

東京と地方の情報・製品・サービス
アクセス格差改善

Concept: 未来のわたしに今のわたしができること

※コンテンツには「ヘルスリテラシー」や「フェムテック」という言葉は使用しない。
マジメ一本ではなく、遊びを入れた「楽しい」「面白い」「ワクワク」を入れ込む。

4 「未来のわたしに今のわたしができること」とは

- “今のわたし”の身体や心のことを楽しく「知って」、楽しく「学んで」、楽しく「自分に取り入れる」ことは、よりワクワクの“未来のわたし”へと繋がっていきます。
- そして、自分を大切にできることで、同様に、人や社会へ優しさを向けることへと繋がり、幸せが溢れる未来へと繋がっていくのではないのでしょうか。
- 無理をせず、自分を責めず、小さな優しさとワクワクを、コツコツと。「未来のわたしに今のわたしができること」を、皆さまと一緒に考えていけたらと考えています。

【前提】

- 既存の講座や書籍で正しい知識を得ることができるものが多くあります。また、フェムテック関連の良質なサービスもあります。
- 問題は、そこに「アクセスしようと思えない」「知らない」という状態なので、私たちの今回のプロジェクトでこれまで知らなかった方々や地方での「裾野」を広げるような位置付けにしたいと考えています。
- これにより、既存の講座や書籍やフェムテックサービスへの「繋ぎ」が私たちにできることではないかと考えています。



未来のわたしに
今のわたしが
できること



ロゴマークについて

【メインカラー】

ブルーは冷静さを表す色。今の自分や世の中の流れを落ち着いた気持ちで見つめ直そう、という気持ちを込めました。

【右側のイラスト】

ふぞろいの四角形は「人」を表しています。強さ、個性、パーソナルな空間は人それぞれ。均一な色の整った四角形は、そもそも存在していないのです。カタチはいびつでも一人ひとりが人に優しく繋がれば、社会は石垣のように強固なものになっていくはずだと考えます。

【左側のイラスト】

「雨」と「木」をイメージしています。どんなに天候が悪くても、止まない雨はありません。雨は人間の営みを支え、土壌を豊かにし、作物を育て、森の木々の成長を促します。空から降る雨が地に落ち、地上から上へ上へと成長していく木のように、色彩は深いブルーから明るい色へ変化していくグラデーション。模様には、足並みを揃えてみんなが進んでいこう、という意味を表現しています。

【文字のフォント】

明朝体は線に強弱があるため、感情に素直になれる書体であると考えます。繊細で移ろいやすい、複雑な女性の心も表しています。

【金色のまる】

まるいカタチは、安心感や優しい印象を与えてくれます。たとえ今がたくさんの不安に苛まれていても、世の中がまるく治りますように。そしてどんな時も、心はまるく穏やかでありたいと願います。

知る・興味を持つ

小冊子作成・無料配布・ 普及イベント・PR



キーワード

「ぷぷぷっ」「くすっ」「ほーーーーー」

- 「明日 わたしは柿の木にのぼる」で培った知見やデータも活かして、女性の身体と心にまつわる科学的根拠に基づいた基礎情報を小冊子（無料配布）として作成。内容は専門的になり過ぎず興味を持ってもらえる「導入」の知識とし、深く知りたい方には他社サービスとのつなぎをする。
- 遊び心満載で思わずクスッと。
これまでにない新たな仕組み・仕掛けを実施予定。

学ぶ・取り入れる

個人・企業に対して 正しい知識を学び・行動する 機会を 講座・研修サービスとして構築



【例】
身体を知る
・ 女性ホルモンなど女性特有の特徴を学ぶ
・ 女性特有のライフイベントを学ぶ
仕事への影響を把握する
・ 日々の仕事への影響を把握する
・ 長期的なキャリア形成への影響を把握する
自分に合った方法を取り入れる
・ ヘルスリテラシー向上を図る

キーワード

「ぷぷぷっ」「くすっ」
「ほほーなるほど」「やってみよう」

- 「明日 わたしは柿の木にのぼる」で培った知見・データや企業とのネットワークを活かして、働く女性のヘルスリテラシーに関する講座・研修プログラムを制作。「講座・研修」は「つまらない」「面倒くさい」という印象が強いため、思わず笑ってしまったり「よし、やってみよう」と思えるようなワクワクする新たな仕掛けを実施予定。

地方での普及

地方での仕組みや連携の 在り方について検討・意見交換



- 単に単発のイベントやムーブメントのみではなく、長期的に地方で女性活躍を推進するためのフェムテック活用を「仕組み」としてどう構築していくことができるか、が大切。これが移住促進にも資する。
- そのため、福島県をはじめとした地方での「仕組み」づくりとしてできることを、金融機関、メディア、自治体、地元企業の皆様と意見交換を実施したい。
- 短期的には、意見交換と各種イベント等での連携を検討中。

※取組内容の全てにおいて、医療機関をはじめ各専門家の監修のもとに制作する。
※効果検証は、アウトプットとアウトカム（短期）をSNSやアンケート等を用いて測定。
※スケジュールは、年内に上記コンテンツを制作し、年明けから普及・連携活動を加速させる。

①既存のフェムテックサービスとの連携

②小冊子の配布や各種イベントでの連携

③講座・研修プログラムの試行的導入

④地方での女性活躍・それを踏まえた移住促進施策の仕組み構築における連携

「明日 わたしは柿の木にのぼる」
instagram



まずは意見交換からでもご連絡お待ちしております。

info@hito-bito.jp